



第 32 号

(年 4 回発行)

編集発行

前 学 院 大 学  
弘 報 委 員 会  
広 報

印刷所

(有)小野印刷所

# ヒロガク教養講話について

学長 吉岡 利忠



新しい科目である「ヒロガク教養講話」は本年度から開始された。3学部の新入生全員を対象とするが、2、4年生でも大学院生でも出席していることになっており、もちろん、教職員も出席できる。すなわち、学生

教職員全員が参加できる講話である。全国の大学を見渡してもこのような科目を設定しているところはない。この科目の設定についてはマスコミでも取り上げられ、地元有力紙である東奥日報(2008(平成20)年5月9日)、陸奥新報(5月8日)などに掲載されたので承知している方々も少なくないであろう。昨今、学生の学習意欲や動機付け、入学目的意識の向上、教養と専門性を備えた知性豊かな人間形成、社会の一員として活躍できる人材の養成が強く叫ばれている。いわゆる、初年次教育、学生教育の必要性ということになるが、これらを踏まえた科目設定でもある。毎週、木曜日の午前10時20分から礼拝堂で礼拝があり、その終了後、11時15分から講話が始まる。1号館414教室は、200人収容できる大きな教室であり、ここで45分から60分間の講話が持たれている。日ごろ考えていることの一つ



講話者 東北化学薬品(株) 代表取締役 東康夫氏

に、講義時間の長さのことがあつたと感覚するものである。今現在、90分(一時間半)の講義時間が設定されているが、その時間の設定に関しては多少の余裕が関係省庁から許されている。この時間が物理的に長いのか短いか担当者および学生それぞれの考えがある。もちろん、授業内容が学生を惹きつけるものであれば学生にとり短いと感ずるものであろうし、担当者としてもその反応を受け取りながらの授業でありこれも短か。講義担当者はその都度変わるが学生は変動なし。気力を維持することは人体機能生理学的にみても限りなく不可能に近い。そうかと言って、単に短くすればいいとは限らないことも承知している。この講話を開始するにあたり、諸事情によることもあつたが11時15分からしか時間設定ができなかった。しかし、多くの講話担当者の反響は適切な長さだと言ふ。多分、聞く方、講義する方、両者がほぼ一致する長さであろうし、生理学的にもすんなり身体に受け入れられることができたのであろう。正味60分あるいは70分の授業時間の高い評判をよく耳にする。

さて、15回の講話は10月30日で終了した。弘学時報を手に取る方々にはその内容を記載する(表)。これに見られるように、内容は保健医療福祉の分野はもとより経済、理工、文化など広範囲にわたる。教員、職員、企業の社長と学内外の講師が担当しバラエティーに富んでいる。教科書もない。参加学生には、単に講話の感想文を書かせるだけでなく、試験も課していない。修得単位にもならない。このことも極めて特徴的である。学生は、「教科書もなく気軽に楽しめる

一年生(新入生)のための『ヒロガク教養講話』の開講表 (木曜日11時15分~45~50分間)(414号 大講義室)

開講日	担当者	タイトル
1 5月 8	学長 吉岡 利忠	人体の小宇宙
2 15	理事長 阿保 邦弘	社会人基礎力
3 22	文学部長 昌山 篤	地域文化の発掘と発信 一津軽神楽(蔵折)の復原と鑑賞一
4 29	看護学部長 神部 博	人間の価値
5 6月 5	文学部 准教授 鎌田 学	(分ける)ことからはじめよう
6 12	社会福祉学部 教授 大野 拓哉	いい加減あるいは適当に
7 26	英語・英米文学科長 佐藤 和博	翻訳について考える 一村上春樹の翻訳を中心に一
8 7月 3	看護学科長 木村 紀美	ポティイメージの変化とその援助
9 10	社会福祉学科長 八戸 宏	福祉を学ぶこととは
10 9月 25	事務局長 齋藤 昭	人にやさしいコンピュータ 一ヒューマンインターフェイス一
11 10月 2	総務課長 竹内 明夫	事務屋の喜び・悲しみ
12 9	東北化学薬品(株) 代表取締役 東 康夫	日本の中の青森県経済に関して
13 16	日本語・日本文学科長 井上 諭一	現在、地上最強? 一現代日本のマンガと文学一
14 23	入試広報センター長 荒木開聖二	金属の不思議 ~鉄は熱いうちに打て~
15 30	看護学部 教授 柳引美代子	知っているようで知らない女・男のセクショナルティ



充実するように計画している。どうぞ、弘学時報の愛読者にもご参加し協力して欲しい。  
**IACSからの表彰**  
吉岡利忠学長は、2008(平成20)年8月2日、4日に熊本県八代市で開催された第7回国際コミュニケーション科学会議(IACS)において会長である川島彪秀氏(日本大学名誉教授)から特別功労賞を贈られた。学長は、保健医療福祉として介護分野におけるより良い対人関係、すなわち人と人とのコミュニケーションの重要性について毎回の国際会議で講演を持ったことによるものである。

## 本多庸一とキリスト教(9)

学校法人弘前学院

理事長 阿保 邦弘



時代の主流から締め出され、立志の途立身の機会をふさがれた本多は、薩長藩閥政権への対抗意識を燃やして、英語を学び、洋学修業に打ち込んだ。ところが、ここで宣教師の人格に触れ、そのビュリタニズム(清教徒主義、宗教・道徳上厳格であること)に打たれ、知識階級たる彼らの素養によってキリス

ト教を理解し、更に進んでその上に立つ近代市民社会の倫理や論理を知るに及んで、ここに彼らの求めていたものを発見し、入信するに至ったのである。このようなキリスト教受容の一般的過程は、本多の場合、明治維新の激動に身を投じて体験した挫折と失意、そしてエリートたる彼の直面した逆境が触発した決意という類型においてたどられる。

### ①人格的感化

初期の宣教師たちの中には日本の士族の心情と相通するような真摯剛毅なビュリタニズム

の持ち主が多かった。彼らは個人としてもその品性、能力、識見において、きわめて優秀な人物が多かった。本多に人格的感化を与えた人物としては、ブラウン(中国、日本と伝道 一八八〇—一八八〇)、ブラウン塾開設、本多のほか井深梶之助、植村正久、押川方義(らを育成)とバラ(日本伝道、一八三二—一九二〇)、明治四年日本最初の日本基督教の仮教師、在日五〇年)がいる。ブラウンはニューイングランド出身で、古典的なビュリタン(清教徒、極端に謹厳・潔癖な人)の高潔な気風を身につけた人であった。彼は早くから日本の武士道精神を認識し、その教養を高く評価していた。か

れはアメリカのミッション本部に意見書を送って次のように主張している。「いやしくも宣教師として日本に派遣されるべきものは、米本国の教会が招きうる最善の人物、すなわちその信仰において、学識においても第一流の人物たるを要す。私は忌憚なくいふ、不完全なる教育を受けたるもの、あるいはすべての階級の人に向かつて身を処すだけの常識のないもの、又は信仰と見識が本国の最善の教会の説教者としてふさわしくないもの、これらは決して日本に派遣せられてはならない。ことに日本派遣の宣教師に必要なのは、度量の広大なる者で、快活、温和であり、平等観念の強いこと

である。なんとすれば、日本人は礼節を重んじ、喜怒哀楽を面(顔)に表さず、仇敵に対しては微笑を持って語るといふ国民であつて、一方他人の威嚇や圧迫には決して甘んじていない。これらの点において日本人は中国人とは全然性質を異にしている。故に日本人に対しては傲然たる態度で威喝するよりは、愛と忍耐と柔和とを持って交わるべきである。」(読みやすく修正した)日本人武士階級をよく理解していることがわかる。明治十二年、病気のためやむなく帰国するにあつて、「自分にもし百の生命があるならば、喜んでこれをことごとく日本宣教に捧げよう」と語つたのは有名である。

バラ師について本多はいう。「バラ師には伝道の精神が満ちていた。余はその言に感動したことはなつたが、その精神に感服した。その熱涙に感服した。」さらに「バラは僕らのためにも熱誠こめて祈る。日本国の安寧のためにも祈る。畏れながら、天皇陛下のためにも祈る。あのですの押川(方義、東北学院創立に関与)が傲岸(おごり高ぶる)の兜を脱いだのはそれ、僕が感服して起信(信仰心が出る)の重なる動機となつたのもやはりそれが原因だ。」

明治五年の頃、われわれはなかなか危険な目にあつた。弾正台(明治二年に設置された警察機関)がバラ師の弟子を召捕りにきたが、時の県令(県知事)陸奥宗光氏に説破せられて帰つたようなこともある。その時バラ師は、君らには危険がある。しかし捕らわれても之がため国家に対して不満な心を抱いてはならぬ。米国に通れることは出来ぬこともないが、それは基督の精神ではない。国法にしたがつてどこへでも流罪に処せられる覚悟をせよといった。之を聞いて全くバラ師が、真にこの国のために来たことを知つて、攘夷の念(外国人を打ち払つて入国させないこと)などもなくなつてしまつた。むしろ居ても

らわねばならぬように感じた。」すべて入信の直接的動機には、具体的人格的感化という契機(動機、きっかけ)がある。本多の場合、このバラの、自分を白眼視する日本および日本人のために声涙ともに下つて祈るというその真摯な熱誠にまず打たれ、その人格にひきつけられ、その人格を生み出すキリスト教の世界に足を踏み入れた。そこで一方ではキリスト教を知るにつれ、これだけなければ日本の国は救えないと考へてこれを奉ずるに至る。また一方では、自ら語るように、ここでキリストと出会い、イエス・キリストを救い主と信じてキリストから父なる神への信仰に至つたのであつた。(以下次号)

# 地域文化研究所報告

研究所主事(社会福祉学部 助教) 藤岡 真之

新渡戸稲造の講演会が十月十八日に行われました。三人の講師によって、新渡戸の知られざる人物像について大いに学ぶことができました。元青森大学の星短期大学の成田育男氏による「郷土会」についての指摘は新たな発見でした。社会福祉学部の松本郁代准教授による教育

## 第4回リカレント教育を終えて

看護学部 教授 村田 千代

開学と同時に始まったリカレント教育は、早いもので4回をかぞえました。今回は、十月四日(土)と十一日(土)の午後2日に分けて『臨床実践に活かす看護研究のありかた』をテーマに開催しました。回を重ねるごとに地域の関係者に浸透し、今回は完成年度に相応しく、県内各地から四日は六十五名、十一日は六十一名と多くの参加者に看護学部第2講義室を満席にさせていただきました。

一日目は、臨床に役立つ看護研究とは何かを理解し、文献検索の仕方、データ分析方法、結果の解釈を学ぶことを目的に、「臨床実践に役立つ看護研究」、神郡 博学部長と「看護研究に活かせる情報処理」、三上聖治教授による講義が行われました。

## 研究紹介

看護学部 教授 三上 聖治



私は昭和五十一年以来「高血圧の疫学」を研究課題として取り組んできました。

この分野の先達の研究は昭和三十年代頃からであり、この頃は正に結核に代って脳血管疾患が死因順位の第一位になった時期でした。



大きい。

## 父母と教職員の会主催 地区別父母懇談会報告

父母と教職員の会主催

平成二十年地区別父母懇談会が九月の土・日曜日を利用して弘前・青森・盛岡の三会場で開催されました。三会場合計で九十三名(全体の十一・五%)のご父母の皆様に参加していただきました。

地区別父母懇談会は、ご父母の皆様が日頃抱えている悩みや疑問について専門の教職員と直

「これからも続けてほしい、毎年参加したい」、「問題解決の糸口をつかむことが出来た」など多くの学びを得たという嬉しい感想が寄せられました。また、「実際に研究をしながらアドバイスしてほしい」、「講義の時間が長すぎる」、「連休でない時に計画してほしい」など次回に向けての貴重なご意見もいただきました。

今回の成果を踏まえて、看護学部リカレント教育がさらに大きく成長できるよう努力していきたいと思っております。

2日目は、問題を解決するためのプロセスを踏まえながら研究課題の解決方法を絞り込むこと、研究計画の基本的な構成や書き方について具体的に学ぶ

を授けない彼らは、年齢と共に血圧が上昇しない。アルドステロンという昇圧物質が異常に高値を示す、という驚くべき結果が得られました。(このことは文明人は食塩を長年摂取し続け

たために、昇圧ホルモンの産生があまり必要なくなったことを示しています。)

日本では昭和四十年代以降

向こうではブラジルの奥地で有史以来文明と関わったことのないヤノマインディアンが発見され、彼らの食餌、血圧、血中ホルモンを測定した結果、食塩

を摂らない彼らは、年齢と共に血圧が上昇しない。アルドステロンという昇圧物質が異常に高値を示す、という驚くべき結果が得られました。(このことは文明人は食塩を長年摂取し続け

接面談し、話し合う機会として毎年実施しております。今年度は昨年度に比べて、完成年度を迎えた看護学部の参加者や、初めて参加された方々が多くみられました。

懇談会では各学部と就職課のブースを設け、出席の申込時にいただいた質問事項を中心に、個別面談と進路面談に分かれて

専門の教職員が個別に相談に応じています。

個別面談では、学生の授業態度や学生生活、学習状況及び成績について積極的に質問や相談される姿が見受けられました。

また、それに対する教職員からの説明やアドバイスに多くの参加者が真剣に耳を傾け、熱心に聞き入っていました。

三・四年生のご父母を対象にした進路面談では、県内外の就職情報や卒業生の就職先、就職活動の準備と心構えなど就職に関する様々な質問・相談が多く寄せられ、ご父母の皆様のご高さがうかがわれました。

大学院進学や留学など、就職や

進学を見据えた大学生活の過ごし方など、より良い学生生活のために父母と教職員の間で意見交換を行う場として、今後も多くの方々に活用していただければと事務局では考えています。

最後に、懇談会当日のアンケートでは様々なご意見ご要望をいただき、今後懇談会を行う上で大変参考になりました。ご協力いただきましたご父母の皆様にお礼申し上げます。

父母 二十七名  
大学教職員 八名  
○盛岡会場 九月二十日(土)  
父母 十七名  
大学教職員 七名  
(父母と教職員の会事務局)

## シンポジウム 魯迅、周作人と一九二〇年代の日本

文学部 教授 顧 偉 良

十月十八日(土)午後、本学でシンポジウム「魯迅、周作人と一九二〇年代の日本」(日本学術振興会協賛、科学研究費補助金「基盤研究(C)」、研究者番号:02934654)の一部による。が行われた。吉岡利忠

学長の挨拶後、二名の報告者、顧偉良(本学教授)「周作人の散文世界におけるユートピアの精神をめぐって」(コメンテーター:李梁、弘前大学准教授、小川利康(早稲田大学教授)「周作人と松枝茂夫 雑誌『近世庶民文化』掲載の佚文をめぐって」(コメンテーター:長堀祐

造、慶応義塾大学教授)の報告があった。はじめの報告は、I、II部に分け、第I部では、九月

中旬に北京等で行った周海嬰氏(魯迅の息子)、周作人(魯迅の実弟)の家族訪問および北京魯迅博物館、紹興魯迅記念館、上

海魯迅記念館の研究調査をふまえて、八〇年代以降の中国国内における周作人研究の状況などについて紹介する。第I部報告後、北京での周作人親族と周海嬰氏等の訪問スライドを見た。第II部では、作家武者小路実篤の「新しき村」の理想郷をめぐる周作人の一九二〇年代以降の精神遍歴について考察した。小川利康氏の報告では、報告者が周作人・松枝茂夫の往復書簡を整理する過程で見つけた幾つかの興味深い事実を踏まえ、「近世庶民文化」に掲載された松枝茂夫と周作人の戯文をめぐって取り上げた。『近世庶民文化』は戦後の日本で刊行された古川柳

研究雑誌であり、古川柳の中でもバレー句(性にまつわる題材を取り上げたもの)を専ら扱う雑誌に二人はなぜ興味を持ち、その背景には周作人のどのような



父母 二十七名  
大学教職員 八名  
○盛岡会場 九月二十日(土)  
父母 十七名  
大学教職員 七名  
(父母と教職員の会事務局)

思想が見出せるのかについて検証した。

松枝茂夫については、東京帝国大学文学部支那文学科で学び、卒業後は北京に一年余り留学し、帰国後の一九三四年(昭和九年)より中国文学研究会に参加する。松枝茂夫自らの生涯を回想して「半生、潦倒す紅樓夢、一向(ひたすら)傾心す周作人」(二字並べ遊び)一九七三年)と述べるように、古典文学では『紅樓夢』、現代文学では周作人に深く傾倒し、生涯その翻訳に全力を傾注することになった。



談話室

夢見るもよし悩むもよし



社会福祉学部 講師 八木橋鉄弘

弘前学院大学は「長神愛人」(神を畏れ人を愛すること)を基本に人間性豊かな人格の完成をめざす総合大学です。赤レンガの正門をくぐると左側に礼拝堂、右側に外人教師館が建ち、桜や櫻の並木とともに落ち着いた雰囲気醸し出しています。今年度四月より弘前学院大学に勤務し、あつという間に半年が過ぎました。研究室の窓から

第3回

東京水天宮助産師育成支援制度

吉岡利忠学長は、2006(平成18)年から東京水天宮助産師育成支援制度の支援金助成選考委員長を務めている。今回の第3回は10月26日(日)に行われ、15人の助産師を目指す学生に授与された。ちなみに、第1回は12名、第2回は11名の学生がその支援の恩恵を受けた。水天宮は、東京都中央区日本橋蛸船町にあり、古くから、安産、子育て、子授り、水難厄除けの神様として全国的に有名である。真木千明宮司が、

昨今の少子化、子どもを安心して産み育てる環境作りには何か役に立ちたいとこの制度を立ち上げ、吉岡学長が選考委員として要請された。来年の国家試験を受験すること、将来、助産師としての仕事を担



手の届く所に桜の木があり、春先は桜の花と蕾が間近に眺められました。毎日、早朝から環境整備をしてくれる方々に心から感謝申し上げます。

さて、5千円札の肖像で知られる新渡戸稲造について、先日、本大学で講演会が開催され、「人と教育」、「柳田国男と矢内原忠雄」、「遠友夜学校を中心として」の三つの視点で報告がなされた。稲造は青年教育に寄せる思いが強く、著書や講話を通して援助を続け、『修養』の中で青年の特性について次のように述べています。

第一特性、希望抱負に富める者が青年であり、目標を持った存在であること。将来に向けて、大きな希望抱負を持つ者が青年と呼ばれるのにふさわしく、希望さえあれば30歳になっても60歳になっても青年である。

第二特性、Childishでない。Child-Likeであること。Child-Likeは悪意識がない、つまり無邪気で世間の悪い所を知らない、悪賢いところのないことであるとする。青年は人情を知るなら高尚なる人情を世間の事情を見るなら健全な事情を知るが良い。知識は吸収しなければならぬけれども悪知識は排除すべきである。第三特性、青年はシンプル(淡

クラブ紹介

みんなで楽しくビリヤード★

看護学部二年 鎌田 由麻

わたしはビリヤード部は総勢二十名で活動しています。今年度は「技術の向上」を目標にノミスを目指して活動しており、主に大学近くにあるお店でナインボールというゲームを中心に練習しています。ナインボールは最も人気の高いゲームで、プロの公式戦や各地のトーナメントでも多く行われています。初心者にもわかりやすく、経験者にも楽しめるゲームです。

活動の日程は不定期ですが、部員が集まれる週末に行っています。また活動への参加は強制ではなく、それぞれの部員がやりたいときに自由に参加できるようにしています。活動時間は二時間半から三時間で、ゲームの進み具合や部員たちの集中力をみて、調節しています。

泊)であること。シンプルには頭がシンプルなとの心のシンプルなのと二通り考えられるが、ここで言うシンプルは心のシンプルなことをさす。それは自然にしたがって開けつ放しです。ねた所がない。少しもひがみのないことを含んでいる。

第四特性、青年は元気(エネルギー)に富むこと。青年は将来なすべき大きな希望、抱負を持つ者である。その希望を実現していくために元気が必要であり、その元気に富むことが青年の特性の一つであるとしている。

みなさんはビリヤードに対してどんなイメージを持っていますか？わたしはたくさんスポーツがある中で、ビリヤードは男性も女性も一緒に空間で楽しめるものであり、多くの体力を必要とすることも、体格の差を気にすることもない、数少ないスポーツだと思います。技術を磨いていくことで年齢も性別も関係なく競えるものなので、さまざまな人と楽しむことができ、趣味としてもより長く続けていけるといふ魅力も感じます。



ように青は良い意味に用いられている。青は春の色で青年といふことは丁度春の野辺のように青々として、それがどんな種類の花を開くか、どんな性質の実を結ぶのか、つまりどういう向上発達をとげるのか分からないという将来に大きな希望のあることとしている。

モラトリアム(猶予)としての青年期の意義とアイデンティティ(自我同一性)について考え、どう生きるのかを追求していく努力と過程が以後の人生に大きな意味を持つと考えます。学生諸君に一言、自分探しの旅をスタートさせよう。夢見るもよし、悩むもよしです。

そこ、大学に入って新しいことを経験したい人、他の人との技術の差を気にせずにスポーツを楽しむみたい人にはとても向いているのではないかと思います。ビリヤードは楽しいだけでなく、狙い通りにボールを落とせたり、爽快感や逆転勝利できたり、多くの魅力が詰まったスポーツです。これからもみんなで楽しく、ビリヤードの魅力を感じていきたいと思っています。

漫画研究部って何部？

文学部三年 乗田 康代

皆様こんにちは、はじめまして漫画研究部(以下漫研)です。さて、よく皆様に聞かれる質問があります。もうお気づきの方はいらっしゃるのではないのでしょうか。そう、タイトルにも書いた質問がなぜか一番多いのです。

私どもの部活は確かに漫研です。日本全国の大学において漫研というサークルは海岸の砂浜のように無数に存在しています。ただ、その中で弘学の漫研はかなり異色の存在であると自負しています。

部室に入っていただければおわかりかと思いますが、部長や部員のデッサンが大量にあります。無駄にありません。しかも絵の内容がやたらと写実的です。特に部長のデッサンが混沌としています。部長、部名を改めてほしいと思います。

平成二十年度 九月期卒業証書・学位記授与式

平成二十年度九月期の卒業証書・学位記授与式が去る九月三十日(火)午後三時二十分より本学礼拝堂において挙行されました。今年度は文学部日本語・日本文学1名の卒業です。

卒業生の晴れの門出を祝うかのように、曇り空がさわやかに晴れ、関係学部教職員が臨席のもと、厳粛に執り行われました。式は、井上諭一日本語・日本文学科長の司会により、パイオルガンの演奏と讃美歌合唱に始まり、中澤實郎宗教主任の聖書朗読、祈禱の後、吉岡利忠学長



名しよーぜー!!(部員からのこのような突っ込みがたまにあります)そんな感じですが、でも、あえて改名しません。ああ、なんだかこの文章を打っている最中に部員からの「なんで?ぶちよー!!」という声が聞こえます。幻聴でしょうか?

私を含めた現代に生きる日本人の殆どが産れて初めて見る絵とは漫画だと思えます。人々が絵を描くきっかけのほとんどが漫画ではないでしょうか。そして大学に来て絵に興味を持った方が入部して楽しんで絵を描いてほしいという願いがある為に、現代において人々が絵を描こうとする意欲を絶え間なく与える原点である漫画の名前を取り外したくないのです。

作品を出産(私たちはこう呼んでいます)するだけではなく、自分たちの画力がどの程度のも

お知らせ  
◆クリスマス礼拝◆  
十二月十一日(木)十六時より十八時三十分より  
場所・弘前学院大学 礼拝堂  
※どなたでもご自由に参加できます。  
尚、音楽会については、整理券を配布しております。本学宗教部まで問い合わせ下さい。



のののかを知る為に不定期ではありますが個人が納得できる作品が完成したら雑誌等に投稿しています。部員の中で自分の作品を見てもらうだけではわからない、真の自分の力というものが見えてきます。そのおかげで作品投稿締め切りの前日は寝不足ですね(笑)  
また、ほぼ毎月2回程度鍋パーティーなるものを実施しています。実はこれを執筆している次の日が鍋パーティーなので、ああ、楽しみ楽しみ。

# たくさんさんの喜びと感謝の気持ち

学祭実行委員長 看護学部二年 工藤 大知

今年も無事「弘学祭08」を終えることができました。今年「我々の絆(われむげん)のきずな」と言うテーマの下、学祭実行委員を筆頭に準備してきました。このテーマには「我々」つまり私達学祭実行委員と、本学の全学生、教職員・事務の方々、地域の方々、オープンキャンパスに来ている高校生、企業の方々、そして今年のメインイベントである芸能人お笑いライブの出演者「東京ダイナマイト」の御二人…といった弘学祭に携わってくださった全ての人達と「(無限大)」の「絆」を結ぶことが出来たらと言う願いが込められています。このテーマの基、学祭と言うイベントを通して皆と絆を結び、全員のちからを一つにして「成功」という二

## 発展途上国の子どもたち

### —カンボジア・孤児院交流活動を終えて—

カンボジアは、今日ではアンコールワットなどの世界遺産で知られている。今でこそ、この国には世界中から観光客が訪れ、



まっただけの仲間と共に、カンボジアのシエムリアップという町を訪ねた。こ

安を抱えていたような気がします。でも学祭本番の二日間では、そんな不安も吹き飛ばすような沢山の笑顔や喜びがありました。「楽しかった」とか「来てよかった」という声をかけてもらい、学祭をやってきた良かったって思いました。今年の学祭は、正直完璧なものだったとは言えないと思えます。でも沢山の方々の協力と支えがあったて、誰か一人の力でなく皆の力で作



皆さんと同じ時間を過ごせたことが自分たちにとって幸せです。今年の良かった点、反省点を生かして来年以降もより良い弘学祭になっていってほしいと思います。最後に「弘学祭08」に携わってくれた全員の心から感謝いたします。本当にありがとうございます。

私は、日本全国から集まった仲間と共に、カンボジアのシエムリアップという町を訪ねた。こ

暴力や性的虐待の被害に遭い、この孤児院に保護された子どももいる。しかし、子どもたちは夢を持ち、何事にも一生懸命だった。私たちが一緒に遊んだり、ごはんを食べたりしている時、子どもたちは常に明るく、表情は笑顔に満ちていた。私には、この子どもたちの笑顔が最も印象的だった。最後に私は、よく一緒にいた孤児院の子どもから一通の手紙をもらった。文章の終わりに、日本語で「ありがとう」と書かれていた。私は涙が止まらなかつた。こちらこそ、どうもありがとう。みんなとの出会いは一生忘れない。

孤児院の子どもたちと別れた後、私はカンボジアの遺跡群や博物館などを見て回った。行く先々で待っていたのは、おびた

だしい数のストリートチルドレンだった。バスを降りるやいなや、身動きが取れないほどたくさんの子どもたちに囲まれ、アクセサリーやポストカードなどを買ってくれとすがられた。この子どもたちは、貧しさゆえに学校に行くことができず、こうして物乞いをしながら日々生活しているのだ。

発展途上国の子どもたちは、まさに「生きる」ことに必死である。ここに、カンボジアにおいては、五歳まで生きることができない子どもの数が日本の約三十〜四十倍にもなる。私は、今回のカンボジア孤児院交流活動で、同じ地球上に暮らす子どもたちの姿を目のあたりにしたと同時に、自分自身の生き方についても深く考えさせられた。

## 入試広報センター便り

# 2008年度オープンキャンパス

今年度は、第1回7月5日(土)、第2回8月30日(土)、第3回10月12日(日)に開催。参加された高校生からは良い評価を得て終了いたしました。



受付風景

各回のプログラムの特色は、第1回が「模擬講義」、第2回が山田ズーニー先生の「小論文対策講座」、第3回が弘学祭との同時開催、「卒業生からのお話」となっています。また、今年度からの新企画として、第3回では「専門分野に関わる展示及び模擬講義体験実習」が実施され、聞くだけのものから参加し体験できる内容が加わりました。

今後とも、内容の充実したオープンキャンパスを目指していきたいと考えております。開催に際し、学部の先生方には企画・運営等、職員と学生の皆様には運営に関わる係分担等のご協力を賜り、心より感謝申し上げます。



卒業生からのお話



山田ズーニー先生の「小論文対策講座」

## 卒業生からのメッセージ

### 諦めなければ夢は叶う

文学部 英米文学科 2004(平成16)年度卒業 下山 和夫 (現在 日本一輪車協会インストラクター)



6歳から一輪車を始め、寝ても覚めても一輪車の事ばかり考えて20年になります。高校時代、マイナーな競技だということとで馬鹿にされた事も多々ありましたが、アザだらけの足は太ももの皮が剥け、それでも休むことなく練習してきた身体の痛みより、一輪車をけなされた心の痛みの方が何倍も痛かった。その痛みは炎となって心を燃やして、一輪車というスポーツを広げて、いつかきつと馬鹿にした人達を見返してやる!そんな思いを胸に、学院大へ進学しまし



みのり第2保育園にて



10月[シルク ドウ ソレイユ]カナダでの演技

学院大の学生の皆さんは最高でした。僕と一輪車を認めてくれ、心から応援してくれました。先生方もそうです。フレンドリーであつたかい先生ばかりでした。前だけを見て、今を懸

2008年10月、世界的に有名な「シルク ドウ ソレイユ」側からのオファーを受け、カナダのケベック州400周年記念スペシャルイベントに一輪車の演技を演目の一つとして披

お知らせ  
九月一日より弘南鉄道「西弘前駅」名が「弘前学院大前駅」に、改名されましたのでお知らせします。

命に生きる勇氣と誇りを大切に